祭で内閣総理大臣賞を受賞しました。 催する令和5年度(第62回)農林水産 行う朝香さんは、農林水産省などが主 同祭の「天皇杯」「内閣総理大臣賞」 伝統的な原木でのシイタケ栽培を 農林

業界の名誉ある賞を受賞

賞は天皇杯に次ぎ業績をたたえる賞 者の中から、その性質・内容が抜群で た人に授与されます。内閣総理大臣 広く社会の称賛に値する業績を挙げ は、表彰行事での農林水産大臣賞受賞 日本農林漁業振興会会長賞」の3賞

とができ良かったです」と朝香さんは 「受賞は実感がなく不思議な感じで 推薦してくれた皆さんに報いるこ



第62回 農林水産祭 林産部門 内閣総理大臣賞

ひろのり 博典 さん (57)



伊豆市在住。全国トップレベルの「天 白冬菇」の生産者。26歳から約30年間、 伝統的な原木栽培を行う。 伊豆の国地 区のしいたけ委員会に所属。



希少価値が高い乾シイタケの芸術品「天白冬菇」



ほだ木を確認する朝香さん



薪乾燥室の内部

ます。朝香さんの「ほだ場」には藤棚が 河湾の温暖な気候で栽培に適してい 同地は天城山系の豊富な降雨量と駿 自然条件と生産者の生産技術の高さ 香リが優れているのが特長。 奇跡的な 花が咲いたような美しい外見に味と に入ってからは同賞を連続4回受賞し 回、農林水産大臣賞に輝き、特に令和 か織り成す逸品です。 います。 生産現場は伊豆市土肥にあります。 天白冬菇は、シイタケが白く割れ

冬菇ッになります。

温が下がると〝花〟 を防ぐ工夫がされています。 「3日ほど暖かい日が続いた後、気 *花が咲いたシイタケ*は乾 が発生しやす

> よる乾シイタケを生産し続けていま 生産仲間と連携し、伝統の原木栽培に

伊豆地域や当JAのブランド

に貢献しています

掛けられ、日陰を確保し雨水の泥跳ね

ブランド化に貢献 豆地域 0

け委員会副委員長を務め(取材当時)、 朝香さんは伊豆の国地区のしいた

「伊豆市土肥地区」

全国に誇る シイタケ産地

が優れた芸術品と 産技術により色沢 合など卓越した生 薪乾燥の仕上げ具 燥の温度や風量

も称される。天白

朝香さんは全国乾椎茸品評会で8

冬菇」を生み出

け

ž

の最高級品

JAふじ伊豆 「農業の匠」

~令和5年度・賞に輝いた組合員~

JAふじ伊豆管内では、組合員の皆さまが多種多様な農産物を生産しています。 管内産の農産物は全国に誇れる品質を有し、市場や消費者から高い評価を得ています。 その中でも各品評会やコンテストで生産技術の高さが認められ、 輝かしい賞を受賞した組合員の皆さまがいます。 今回の特集では令和5年度に受賞された組合員の皆さまの中から5人の方をご紹介します。













令和5年度広報誌掲載の皆さま

令和5年度の広報誌には25の品評会・コンテストの結果を掲載しました。 100人以上の組合員の皆さまが、内閣総理大臣賞や農林水産大臣賞をはじめとして数々の輝かしい賞を受賞。 今回ご紹介の受賞者以外にも全国わさび品評会で最高位など数多くの皆さまが入賞されています。 第3回通常総代会資料にも上位入賞者一覧を掲載していますので、あわせてご覧ください。

計など親身に相談に乗ってくれ、

た「JA営農アドバイザー

は肥料設

部活動での米作りの意義を挙げ、ま があり、とても勉強になる」と青壮年 まり、知恵を出し合うことで新発見

かっている」と評価します。

今年の目標に「例年より田植えの

日々アップデ トで高品質を維持

の笑みを浮かべる鈴木さん。 賞できて、自分でも驚きです」と満面 たいと思っていたが、こんなに早く受 賞できてうれしい。 き、2年連続で農林水産大臣賞を受 同賞受賞は今回で5回目。受賞に 「昨年の関東東海花の展覧会に続 もう一度受賞し

の作型を導入して作付けをロー た効率化を図っています。 ションすることで、集中出荷を避け にあった栽培を考え、今期は早植え を惜しみません。その年ごとの気候 種への挑戦など、高品質維持の努力 A営農アドバイザー は、栽培に

> 荷市場との細やかなやり取りなど、 れます。販売も新たな販路開拓や出関する相談にいつも的確な答えをく 有利販売につながる手助けを. れてありがたい」と話します。



になるよう、栽培方法の模索や新品 恥じず、他の生産者のお手本や目標

> 河津町在住。「金魚草」をメインに裏作 として「ひまわり」や「ケイトウ」を栽培。伊 豆太陽地区本部東部一般切り花部会長 を務める。

農林水産

大臣賞

金賞

第39回 静岡県花の展覧会

農林水産大臣賞・金賞

鈴木 顕一 さん (62)

すずき けんいち





ます。

こだわって自ら栽培した飼料を基礎

餌の品質にも気を配り、土壌から

ら||頭||頭こまめな管理を徹底してい

Aの酪農ヘルパーも活用しなが

乳質向上は牛との対話 牛の体調や空腹具合を確認し、餌を 生乳づくりには日ごろの牛の観察が 残している牛は翌朝の量を減らすな に牛の餌の食べ方を観察。その日の つながる恐れがあるため、毎日朝・夜 なにより大切」と力強く語ります。 最優秀賞 餌が多すぎると消化不良や病気に 渡邊さんは、酪農歴0年。「良質な

が基本

第15回 関東生乳品質改善共励会

最優秀賞

渡邊 謹一 さん (78)

伊豆の国市在住。妻・息子と3人で酪

8

農を営み、牛45頭を飼養。伊豆の国酪

農委員会に所属。

わたなべ きんいち

品質が安定し、今回の受賞にもつな 「良質な餌と日々の管理により生乳の 飼料として4~5割与えています。

する高根支部の皆さま

知事賞 第20回 お米日本一コンテストinしずおか 最高金賞·静岡県知事賞 JAふじ伊豆青壮年部 御殿場地区本部 高根支部 約75アールの水田でコシヒカリを栽培

盟友との活動が自信と勉強につながる

栽培管理は稲を見て判断

お米日本一コンテストinしずおか

最高金賞

静岡県

春起こしから代かき、水管理、収穫など 盟友それぞれが役割を担う

本一コンテスト以外のコンクールでも さらにおいしいお米を作って、お米日 時期を遅くしてゆっくりと登熟させ、

入賞をねらいたい」と力を込めます。

賞は米作りの自信につながっている」 快挙を達成しました。「コンクー

と原文孝支部長は笑顔を見せます。

「盟友であるさまざまな農家が集

最高金賞と県知事賞のダブル受賞の 部。令和5年度の第20回大会では、 賞3回に輝いている青壮年部高根支 で、日本一など上位入賞2回、県知事

の利もあるが、農家の腕が良いから」 多収米の品種だが食味値が高い。 これが御殿場の風土によく合った。 栽培を始めて5年目。「栽培したこ と高田さんは笑います。 とのない品種に挑戦しようと考えて いた時に紹介されたのが『歓喜の風』。 金賞を受賞した品種『歓喜の風』は 地

自分の経験や感覚も大事にして る」と続けます。 は達しているが収穫はまだ早いなど、 ることも多い。このまま成長してい 大事にしているが、稲を見て判断す くと肥料不足になるとか、 「肥料設計や水管理など、基本を 積算温度

A営農アドバイザ

に対して

9

農課が毎月発行する『営農だより』は にしている」と信頼を寄せ、「地区営 て情報を発信してくれ、とても頼り 必ず目を通している」と話します。 営農アドバイザーと栽培管理について

金賞 第25回 米・食味分析鑑定コンクール 国際大会 in つなん 都道府県・海外地域代表 お米選手権 金賞 たかだ てつぉ **高田 哲夫** さん (65)



御殿場市在住。コシヒカリ、歓喜の風、 峰の雪もち、水稲種子を合計4ヘクター ル、畑を20アール管理。御殿場・小山エ コ栽培米出荷組合、北駿種子生産組合

に所属。

「地区全体の水田、稲の様子を観察し 識を息子に継承していきたい」と意 の基盤を整理しながら培ってきた知 分が動けるうちは酪農に励み、管理 がった」と喜びを語る渡邊さん。「自 話す高田さん(左) 牛がストレスを溜めない環境作りに励む渡邊さん